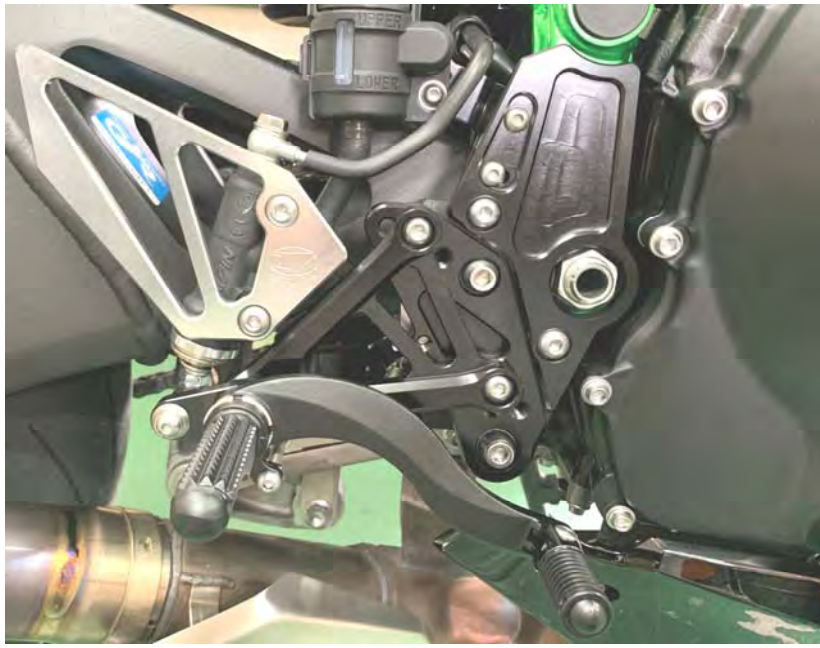


KAWASAKI Z H2 Hyper Bank < 取付説明書 >



おもな仕様

◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ステップホルダー	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側 ・ ブレーキ側 ポジションプレート・ヒールプレート	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル ・ ブレーキ側ペダル	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジペダルカム ・ ブレーキペダルカム	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ MFJレースレギュレーション対応 ステップバー	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造
➢ 両側ペダルピン、可倒システム採用。	➢ 4ポジション可変システム	
➢ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理	➢ ステップバー 固定式仕様	

《 **注意 !!** 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 **Attention!!** 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

☆ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

ブレーキ側(R)の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、古布 等でカバーして当たらないように工夫してください。

リアブレーキマスターシリンダーを止めている純正 M8 ボルトを緩め、マスターカップもステーから取り外し、その後にブレーキ側ノーマルステップホルダー を取付けている M8 / M10 純正ボルトを緩めてノーマルステップを車体から取り外します。

ノーマルステップ を外した後、純正ブレーキランプスイッチのスプリングを取り外します。

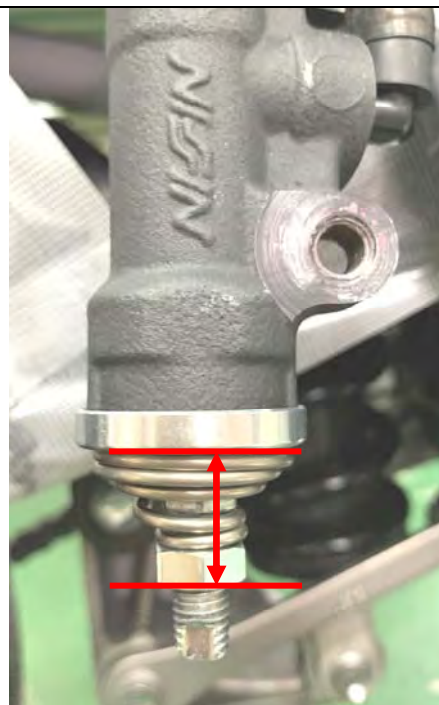
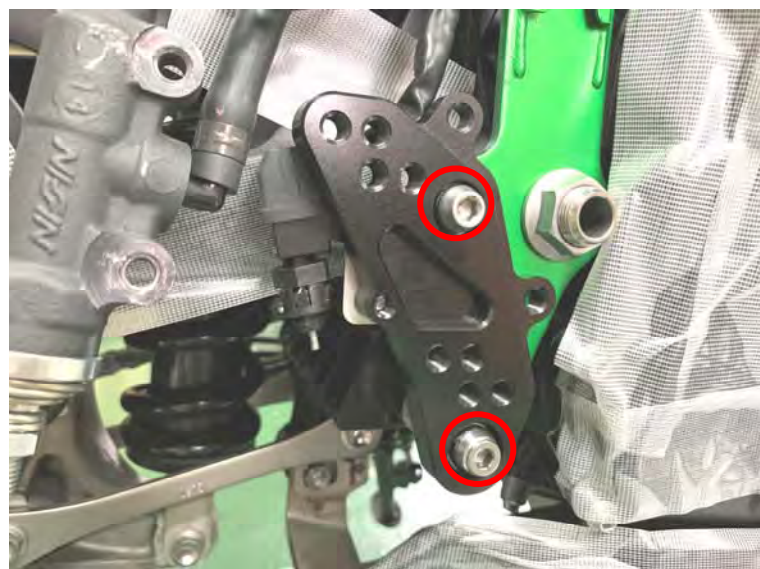
その後、純正ブレーキランプスイッチのアジャストナットを回してブレーキランプスイッチをノーマルホルダーから外し、スイッチのアジャストナットもノーマルホルダーから外してください。

リアブレーキマスターシリンダー の プッシュロッド部の 純正 M8 アジャストナットを緩めた後、ノーマルステップホルダーを他のパーツに当たらない様注意して、ホルダー Assy ごと回してマスターシリンダーから完全に取り外します。

※ 純正 M8 アジャストナットを後で使用します

下図の様に、取り外した純正ボルトを使用し、ポジションプレートを取り付ける。

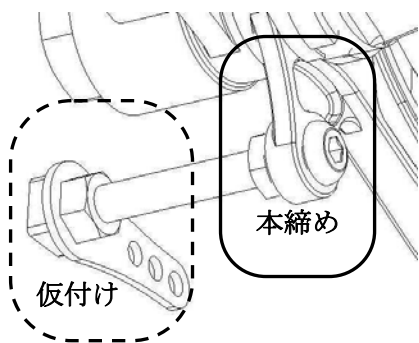
※チェンジ側も同じ様にポジションプレートを取り付ける。



左図の様に、純正マスターシリンダーに

- H/B リターンスプリングカラー
- ペダルリターンスプリング No.10
- 純正 M8 アジャストナットの順でプッシュロッドの M8 ネジ部に取り付け、スプリングの上端と、一番下のナットの下端との距離を 17 mm (※ 左図矢印参照) に調整し純正アジャストナットで仮止めしておきます。

※後で要再調整



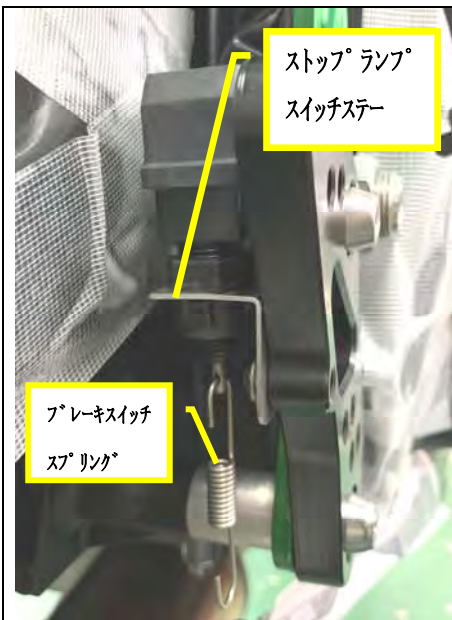
ブレーキペダルのネジ部に丸キャップボルト M6×50 を締め込み、裏から左図のように、M6 ナットで本締めし完全に固定します。

そして、スイッチロッドステーと M6 ナットを左図の様に、仮付けしておきます。

右図の様にスイッチロッドステーがブレーキペダルと平行になるぐらいで仮付けする。

※ステアが動いてしまうと、他の部品にキズを付けてしまう為、注意が必要。



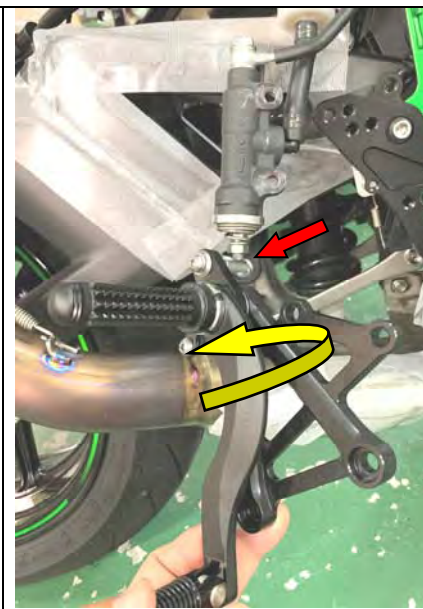


外しておいた純正ブレーキランプスイッチとアジャストナットを方向を間違えないように組み立て、H/B ブレーキ側ポジションプレートについているストップランプスイッチステーに、ナットのツメが引掛かるまで押し込んで下さい。この時点でブレーキスイッチスプリングを取り付けます。

※ブレーキスイッチの位置は左図を参考にして下さい。

ステップホルダー本体を回転させ、マスターシリンダーのプッシュロッドに取り付けたM8ナットの下端に当たるまでねじ込む。

※ステップホルダーを回転させる際、他の部分に当たらない様に注意しながら作業を行って下さい。



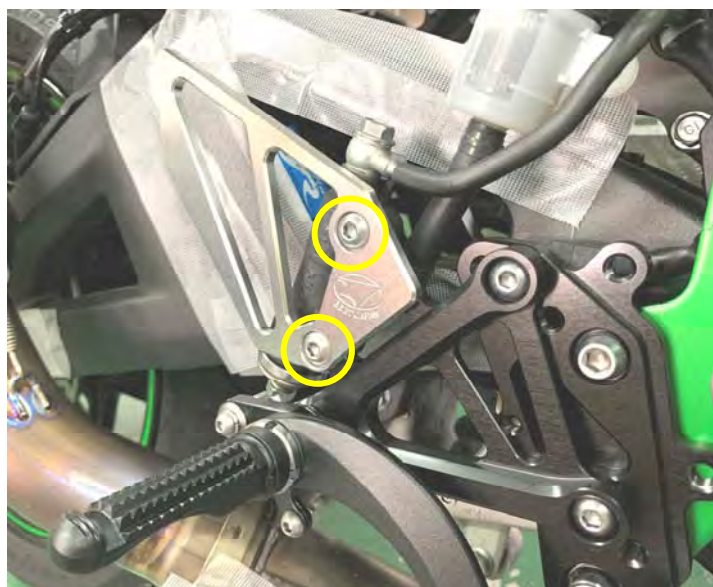
左図の様に、ステップホルダー本体をポジションプレート1～4の好みの位置に、丸キャップボルト M8×15 で取り付ける。



ステップホルダーを固定した後、M6ナットを緩めてスイッチロッドステーにブレーキスイッチスプリングを取り付ける。

下図の様に、ヒールプレートと共に締める形で、丸キャップボルト M8×25 でマスターシリンダーにステップホルダーを取り付ける。

※使用するポジションにより、ブレーキパイプの曲げ修正が必要ですが、慎重に作業を行って下さい。



ピボットプレートに純正マスターカップステーを、カラー(20mm/4.5mm)を挟み丸キャップボルト M6×35 とロックナットで取り付ける。

※使用するポジションにより、取り付け角度の調整が必要。

ピボットプレートを、丸キャップボルト M8(上側 15mm/下側 10mm)でポジションプレートに取り付ける。

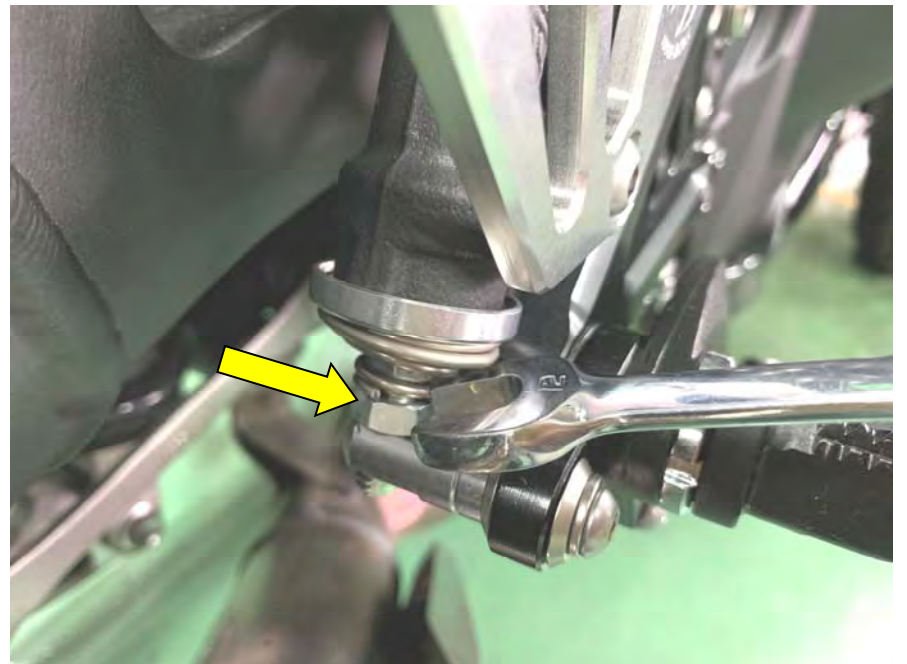
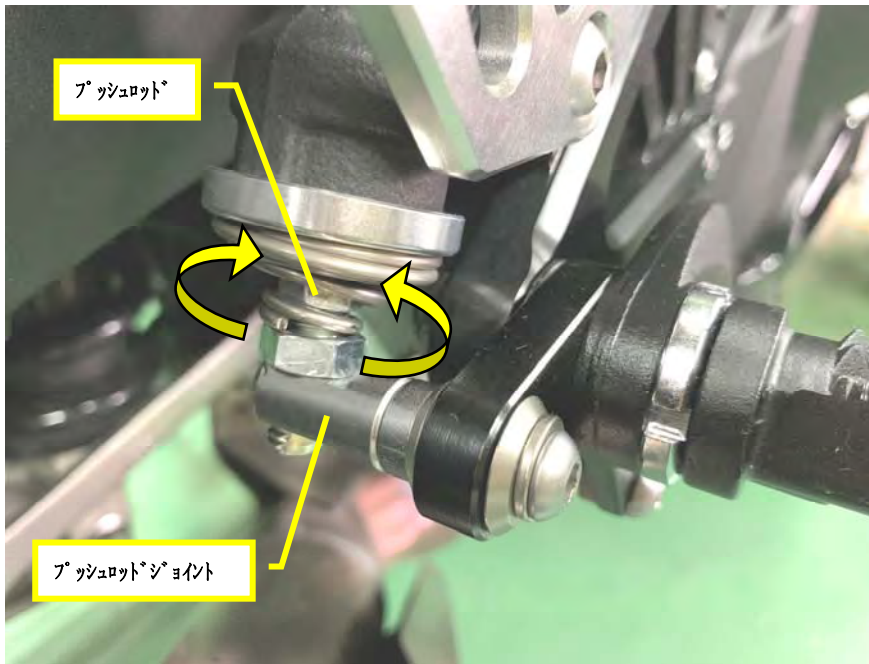
マスターカップ及びカバーを、純正ボルトを使用しステーに取り付ける。

最後にマスターカップステーの取り付けボルト/ナットの本締めをする。



ブレーキペダルの高さが合わない場合は、純正 M8 ナットを緩めた状態で、プッシュロッドを 10 mm の薄口スパナで回転させ調整します。
 スパナが入らない場合は、丸キャップボルトを外しプッシュロッドジョイントを回して調整する。

ブレーキペダルの高さ調整完了後、純正 M8 ナットを締めプッシュロッドが回らない様に固定します。



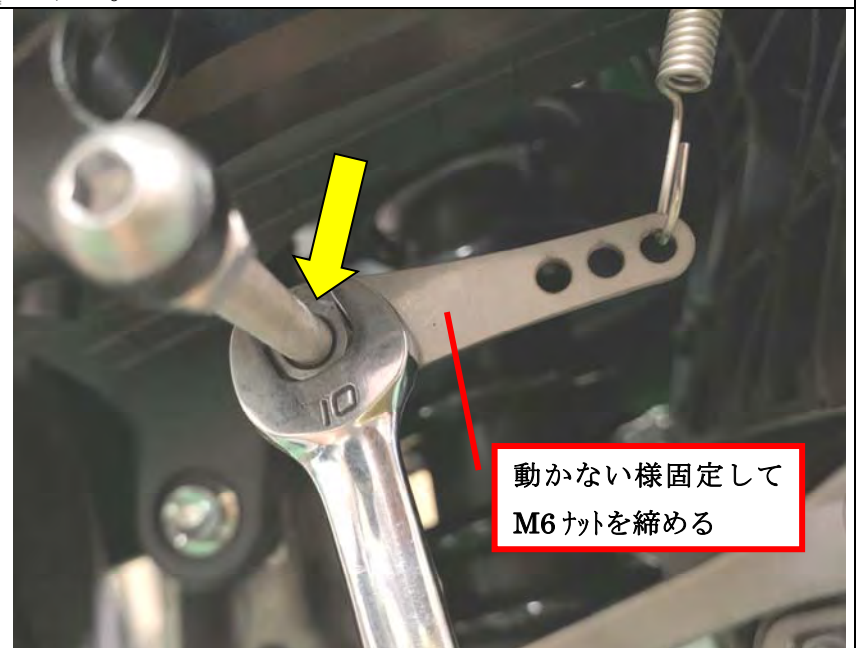
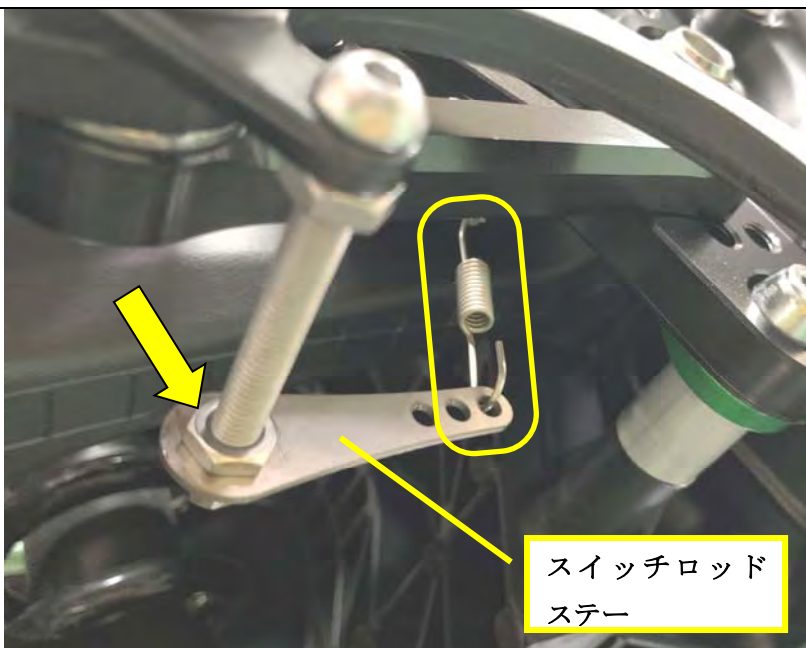
▶ ペダルが 上向き すぎる場合は…
 プッシュロッドを少しずつ 締めて ペダルの先端を下げます

▶ ペダルが 下向き すぎる場合は…
 プッシュロッドを少しずつ 緩めて ペダルの先端を上げます

ブレーキペダルの高さ調整とプッシュロッドの固定が確実に終わってから、

矢印の M6 ナットを緩めスイッチロッドステーをフリーにした状態で、ブレーキスイッチスプリングが遊ばない位置で M6 ナットを締める。

ブレーキペダルを操作した際に、ブレーキランプが点灯する位置で、スイッチロッドステーを M6 ナットで固定する。
 ※スイッチロッドステーが回らない様に押さえながらナットを本締めする。



◇ ブレーキ側の取付けの最後に…

H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

LH (チェンジ側) の取り付け

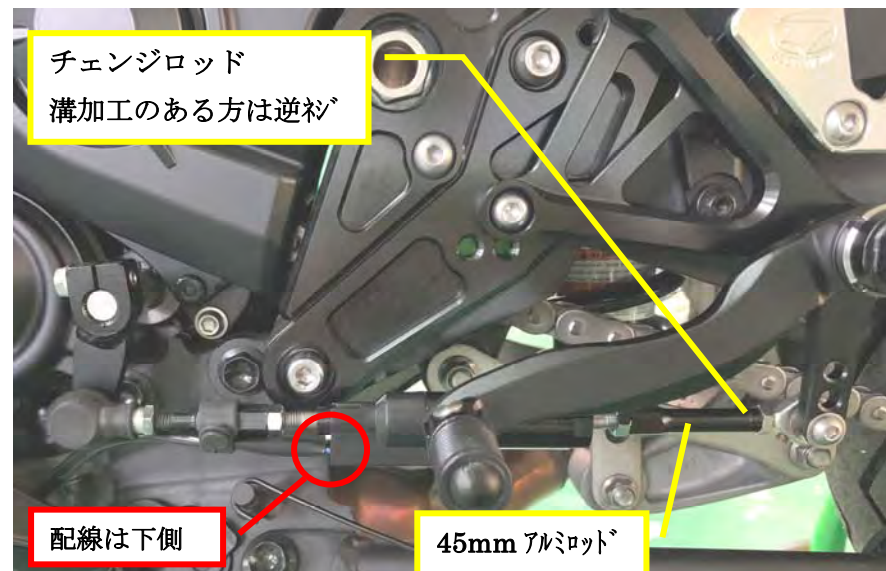
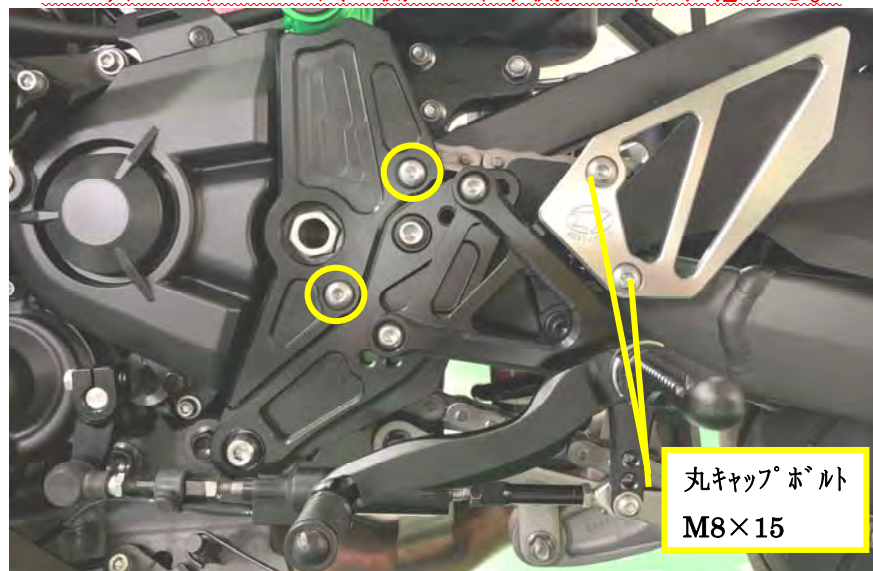
- ▶ チェンジペダル側ピロボールを固定している、純正 M6 六角ナットを緩める。
 - ▶ ノーマルステップホルダーを車体に固定している純正 M8/M10 ボルトを外し、ブレーキ側同様にステップホルダーを回転させ、シフタースイッチからピロボールを外し、ホルダー本体を車体から取り外す。
- ※ 純正チェンジカムを含むシフタースイッチより前側のパーツは使用します。

ブレーキ側同様に取り付けします。

※ヒールプレートの取り付けボルトは M8×15 を使用します。

※ヒールプレート M8 ボルト(上側 15mm/下側 10mm)に注意する。

45mm アルミロッドで、純正シフタースイッチとチェンジペダルのピロボール(逆ネジ)を繋げる。



※ 最初の取付け時は、好みのポジションで取付けて下さい。走行時は必ずご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。

Pos1~Pos4 の各ポジションで、チェンジペダル高さを調整する際には、シフタースイッチ前後のロッドのセット長を変更する。

※ チェンジペダルの高さを調整する際、

- ▶ シフタースイッチ前後 M6 正ネジ
- ▶ チェンジカム側ピロボール M6 逆ネジ
- ▶ チェンジペダル側ピロボール M6 逆ネジ の

それぞれの部分のネジのかかり量が 6mm 以上 になるように注意して調整して下さい。

チェンジロッドの脱落等の原因になります。!

※ Pos1 でペダル位置を更に上げたい時は、チェンジカムのセレーションを1コマずらす。その際にもシフタースイッチとボルト頭のクリアランスを必ず確認する事。



停車状態で、シフトチェンジ操作を2~3度行って、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

◇ チェンジ側の最後に...

H/B チェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

ポジションチェンジについて

	BACK	UP	
Pos.1	20 mm	23 mm	
Pos.2	32 mm	23 mm	
Pos.3	32 mm	35 mm	
Pos.4	44 mm	35 mm	

》 注意点 《

- ◇ 取付けるマフラーによって、選択できないポジションがありますので御了承下さい。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択が可能です。極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを増し締めすることをお奨めします。
- ◇ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

弊社製品に関するお問い合わせは、

TEL. 072 (257) 7600

FAX. 072 (259) 6600

(株) 日本ビート工業

まで

- ホームページ URL
<http://www.beet.co.jp/>
- 商品関連 e-mail アドレス
sales@beet.co.jp
- 技術関連 e-mail アドレス
support@beet.co.jp

BEETWebsite

Web サイトを開設しております。
左記 URL にてご覧下さい。